

■部会 Report

企画部会

—2007年度の活動報告（旧・制度部会）—

日本風力発電協会 理事／企画部会長 **鈴木 章弘**

株式会社風力エネルギー研究所

はじめに

本年度から、「制度部会」は名称を「企画部会」と改め、風力発電の普及促進に関する制度の検討や提言の取りまとめ、協会の活動全般に関わる活動を行っています。

昨年度までの阿部部会長（川崎重工・現副部会長）に代わり、部会長を務めさせていただいておりますが、三保谷副代表理事（電源開発）、山田副代表理事（M&Dグリーンエネルギー）、も部会に参加していただき、部会の活動を大いに盛り上げていただいております。

2007年度の活動方針

会員各位もご存じの通り、世界的には非常に好況の風力発電業界のなかで、日本市場だけは電力系統や立地の制約、台風、乱流、雷と言った厳しい自然環境条件に由来する技術的制約などから、市場が停滞へと向かうことが心配されています。

また、風力発電技術には研究開発要素はなくなったという判断から、最近まで長期間にわたって研究開発予算が削減されていたことから、特に専門性を持った技術系の人材育成が十分でない等の問題を抱えております。

企画部会では、そのような風力発電ビジネス全般に関わる問題点を整理し、その改善に向けた検討や、そのための具体的行動について議論を行っています。また、当協会の在りかた、今後の方向性についても取り上げています。

これまでの活動状況

（1）勉強会の実施（11月2日）

風力発電事業者懇話会と共同で開催し、系統連系と認証制度について取り上げました。

（2）風力発電課題勉強会（東京都）

東京都環境局と風力発電に関わる勉強会を開催し、ビジネス全般や税制に関する課題などを取り上げました。

（3）風力エネルギー連絡協議会

国内の風力発電関連団体が情報共有の目的

で開催している協議会で、11月9日に第10回会議が開催されました。その中では、風力発電関連団体が協調して活動し、業界全体の意見を統一して表明することが重要であるという意見が出されております。

（4）2050年自然エネルギービジョン検討会

環境エネルギー政策研究所（ISEP）、太陽光発電協会、日本地熱学会、全国小水力利用推進協議会などと共に、2050年自然エネルギービジョンの策定を行っています。

（5）風力発電に関わる調査等の進行状況

国内における風力発電関連事業に関する情報・意見の交換を行っています。主なものは下記の通りです。

①NEDO 技術開発機構

日本型風力発電ガイドライン策定

洋上風力発電F/S先行調査

風力発電故障・事故調査

②原子力安全・保安院

風力発電設備技術基準（風技）改訂

（6）JWPAの課題

当協会の課題として下記のような事項について取り上げたいと考えています。

①JWPA 会員制度の改革

風力発電の普及促進を目的とする協会独自の活動ができるだけの財政基盤の確立を目指した会員制度の検討を行いたいと思います。

②JWPA 倫理綱領の制定

③IEA 小形風車ラベリング制度

④協会からの情報発信

協会誌、電子メールなどによって会員に対して積極的に情報を提供すること、また、風力発電に関する正しい情報の提供を目指したポジティブキャンペーンなどを検討しています。

新部会員の募集

当部会では積極的に意見を交換し、協会外部での対外的なものも含む活動にも参加していただける方の協力をお待ちしております。